

防災減災・県土強靱化対策特別委員会会議記録

防災減災・県土強靱化対策特別委員長 御手洗 吉生

1 日 時

令和7年9月12日（金） 午後3時12分から
午後3時20分まで

2 場 所

第3委員会室

3 出席した委員の氏名

御手洗吉生、戸高賢史、榊田貢、穴見憲昭、岡野涼子、中野哲朗、宮成公一郎、
首藤健二郎、小川克己、御手洗朋宏、福崎智幸、成迫健児、原田孝司、堤栄三、
佐藤之則

4 欠席した委員の氏名

な し

5 出席した委員外議員の氏名

な し

6 出席した執行部関係者の職・氏名

な し

7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

8 会議の概要及び結果

（1）付託事件の調査に関する今後の活動計画及び方向性について協議した。

9 その他必要な事項

な し

10 担当書記

政策調査課調査広報班	専門幹	佐藤達郎
政策調査課調査広報班	主事	徳丸花帆
政策調査課調査広報班	主事	瑞木彩乃
議事課議事調整班	主査	利根妙子

第2回防災減災・県土強靱化対策特別委員会

日時：令和7年9月12日（金）本会議終了後

場所：第3委員会室

< 次 第 >

1 開 会

2 特別委員会の概要と付託事件について

3 開催計画について

4 調査内容について

5 その他

6 閉 会

会議の概要及び結果

御手洗（吉）委員長 これより、第2回防災減災・県土強靱化対策特別委員会を開催します。

本日の委員会は、特別委員会の概要と付託事件について、改めて事務局から説明を受けた後、今後の開催計画と調査内容について協議します。

それでは、最初に本委員会の概要と付託事件について、事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、概要と付託事件について説明させていただきます。2ページを御覧ください。

左の目的欄に記載のとおり、本委員会は、南海トラフ巨大地震の発生リスクが高まる中、最近でも台風や線状降水帯等による水害を始めとした大きな災害が県内外で発生している状況です。また、先の能登半島地震では孤立集落対策等が改めて課題となり、同様な地形を要する本県でも対策を一層強化する必要があります。このため、災害に強い県土づくりのあり方や大規模災害に備えた孤立集落対策や避難所運営等について調査研究し、今後の防災・減災対策に向けた政策提言を行うことを目的としています。

そこで、具体的に調査研究を行う付託する事件として、（1）南海トラフ巨大地震対策について、（2）頻発・激甚化するあらゆる災害対策について、（3）県土強靱化について、（4）防災に関する体制づくり・人材育成について、の四つを掲げています。

調査期間は、設置日の令和7年6月20日から、令和9年3月31日となっています。

御手洗（吉）委員長 それでは、本委員会は目的に沿い、付託事件について調査協議していきますので、よろしくをお願いします。

次に、今後の開催計画について、事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、開催計画（案）について、説明させていただきます。3ページを御覧ください。

本日の第2回委員会では、今後の進め方を協議・決定し、委員会で調査する内容の検討を行

います。

次回以降については、まず、第3回委員会を11月に開催し、執行部から南海トラフ巨大地震や県土強靱化の取組状況等の説明を受けた後、第2回委員会で検討した調査内容を決定します。

また、第4回委員会を12月の第4回定例会中、第5回委員会を3月の令和8年第1回定例会中に開催し、いずれも参考人を招致するようにしています。

なお、県外所管事務調査については、今年度中に実施することとし、今のところ2月に実施したいと考えています。

令和8年度に入り、第6回委員会を第2回定例会中に開催し、報告書の作成に向けて、骨子（案）等の協議に入ります。第7回委員会を第3回定例会中に開催し、報告書の記載内容について協議を進め、第8回委員会を第4回定例会中に開催し、報告書を本会議に提出するよう計画しています。

最後の令和9年第1回定例会で、執行部より報告書に対する措置状況報告を受ける予定です。

御手洗（吉）委員長 ただいま説明がありました開催計画について、質問があれば、お願いします。

〔「なし」と言う者あり〕

御手洗（吉）委員長 それでは、御意見もないようですので、開催計画（案）のとおり開催したいと考えますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

御手洗（吉）委員長 よって、本委員会は、開催計画（案）のとおり開催することとします。

次に、本委員会の調査内容について、事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、調査内容について、説明させていただきます。4ページを御覧ください。

事務局で付託事件毎に調査項目の案をとりまとめた資料です。

まず、付託事件（1）の南海トラフ巨大地震

対策については、資料５ページにありますように、本年３月３１日に国の南海トラフ巨大地震ワーキンググループが被害想定の見直しを発表しています。それについて、巨大地震の被害の特徴や実施すべき主な対策等をまとめています。この報告書を受けて、本県においても、資料６ページにあるように、被害想定の見直しに取り組む予定です。

そこで、付託事件（１）については、国が発表した南海トラフ巨大地震の概要、そして県の被害想定の見直し、それを受けた防災・減災対策の見直しを調査項目として整理しています。

次に、付託事件（２）の頻発・激甚化するあらゆる災害対策については、従来の台風に加え、近年、線状降水帯による集中豪雨等により風水害が頻発・激甚化していますので、風水害対策を調査項目として整理しています。

付託事件（３）の県土強靱化については、資料７ページ以降に土木建築部のおおいた土木未来（ときめき）プラン２０２４を記載していますが、災害に備えるインフラ整備をはじめ、近年、公共上下水道の老朽化に伴う災害等も発生しているため、ライフラインやインフラの耐震・老朽化対策、被災後の復旧も加えて調査項目として整理しています。

付託事件（４）の防災に関する体制づくり・人材育成については、付託事件（１）、（２）の南海トラフ巨大地震対策や用水害対策、付託事件（３）の県土強靱化について、ハード対策以外のソフト対策を中心とした防災・減災対策全般を取り扱うことを考えています。

具体的には、令和６年１月発生の能登半島地震等を踏まえ、まずは、常日頃からの①防災意識の高揚が重要として、迅速な避難行動や備蓄の確保。次に、災害発生後の対応で、課題とされた②避難所運営やそれに伴う③人材の活用、育成。また、④孤立集落対策を議論していければと思います。

また、避難生活の長期化等に伴って災害関連死も多数発生している現状から、保健・医療・福祉が連携した支援による⑤災害関連死対策も考えていく必要があると思っています。

ほかにも、一番下に記載している、年々進化する先端技術の活用等についても考えていければと思います。

御手洗（吉）委員長 ただ今、事務局から調査項目案の説明がありましたが、委員の皆様、何か御意見はありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

御手洗（吉）委員長 それでは、御意見もないということなので、これで協議を終わりにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

御手洗（吉）委員長 それではこれで終わります。

ただいまから内部協議を行うので、その準備をお願いします。

〔傍聴者退室〕

御手洗（吉）委員長 それでは、内部協議を行います。

先程、開催計画で承認いただいた参考人招致と県外所管事務調査について、委員の皆様にご意見をいただき、検討したいと思います。

まず、参考人招致について、事務局から説明をお願いします。

事務局 参考人招致について、説明させていただきます。内部協議用資料の１ページを御覧ください。

参考人招致はさきほど２回開催すると御説明しました。

まず、第１回目については、１２月の第４回定例会中に開催し、付託事件（１）の南海トラフ巨大地震について、お話いただければと思っています。大分県が設置した地震被害定みの見直し等に関する有識者会議の会長などを候補としています。

そして、第２回目は３月の令和８年第１回定例会中に開催し、避難所等防災体制について、お話いただければと思っています。能登半島地震で実際に避難住宅の建設等で被災地復旧に取り組んだ一般社団法人日本モバイル建築協会代表理事で、立教大学大学院デザイン研究科の長

坂教授などを候補としています。

御手洗（吉）委員長 事務局から説明がありましたが、委員の皆様、何か御意見はありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

御手洗（吉）委員長 御意見もなく、1回目の参考人招致が12月と迫っていることもありますので、講師の人選と日程について、委員長に一任いただけないでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

御手洗（吉）委員長 それでは、私の方で事務局と調整して決定し、次回の委員会で報告します。

次に、県外所管事務調査について、事務局から説明をお願いします。

事務局 県外所管事務調査について、説明させていただきます。同じく、内部協議用資料の2ページを御覧ください。

県外所管事務調査先については、まだ災害の爪痕が残っており、現在復興中の能登半島地震の被災地を訪れ、改めて災害の状況を直視し、被災地の生の声を聴くことで、本委員会の調査研究の参考になるのではないかと思います。

その中でも、輪島市は、最大震度7を観測し、その後、豪雨災害にも見舞われて甚大な被害が発生しています。応急仮設住宅や奥能登の復興状況をPRする復興デザインセンターの設置への取組、また震災遺構の保存・活用も積極的に行っていることから、視察先候補としています。

御手洗（吉）委員長 ただいま説明がありましたが、質問はありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

御手洗（吉）委員長 それでは、視察先と日程について、委員長に一任いただけないでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

御手洗（吉）委員長 それでは、私の方で事務局と調整して決定し、次回の委員会で報告します。

最後に、全体を通して何か質問等はありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

御手洗（吉）委員長 それでは、以上で本日の

委員会を終わります。

次回の委員会は、防災局と土木建築部から説明を受けたいと思います。

なお、開催日については、後日、日程調整の上決定し、事務局からお知らせします。

お疲れ様でした。